

2025年度名古屋大学大学院生命農学研究科博士前期課程入学試験

受 験 専門科目名	国際農学	この科目について (2)枚のうち(1)枚目
--------------	------	--

以下の4問のうち、【問題1】は全員が回答すること。また、【問題2】～【問題4】のうち2問を選択し、解答すること。問題ごとに別々の答案用紙に記入すること。

【問題1】 次の用語の中から4つを選び、説明せよ。

- 1) 政府開発援助 (ODA)
- 2) 貧困 (但し、国際協力で扱う場合)
- 3) 天水田
- 4) 世界銀行
- 5) キマメ
- 6) 嗜好料樹木
- 7) バイオ燃料
- 8) CSR (Corporate Social Responsibility)
- 9) 国際農業研究協議グループ
- 10) パリ協定

【問題2】

次の熱帯の気候を特徴づける要因に関する文章を読み、問1) ～ 問3) に答えよ。

モンスーンとは、季節ごとに一定の風向を示す (1) をさす言葉である。(2) と (3) の比熱差によって生じ、夏は (2) が温まりやすいため上昇気流が生じ、(3) からの風が吹く。逆に冬は冷めにくい (3) が相対的に暖かく、(2) から (3) へ風が吹く。従って、冬の日本海側のような地形に起因する例外はあるものの、モンスーンの影響を強く受ける地域は、夏が (4) となり冬が (5) の傾向となる。モンスーンはハドレー循環(a)などの影響を強く受ける。特にアジアで規模が大きく、アジアモンスーンとよばれる。アジアモンスーンは (6) の季節性をもたらすものの、夏期に (7) をもたらす。

問1) (1) ～ (7) に当てはまる適切な語を記せ。

問2) 下線 (a) ハドレー循環について説明せよ。

問3) アジアモンスーン域では稲作が盛んであるが、エルニーニョ発生時には不作傾向を示す。エルニーニョとはどのような現象であり、なぜエルニーニョ発生時に稲作が不作傾向となるかを説明せよ。

2025年度名古屋大学大学院生命農学研究科博士前期課程入学試験

受 験 専門科目名	国際農学	この科目について (2)枚のうち(2)枚目
--------------	------	------------------------------

【問題3】 以下の文章を読み、問1) と2) に答えよ。

開発途上国における農家の多くは小農であり、様々な形態の伝統的農業を営んでいる。これらの伝統的農業者は、自然災害や社会的な問題に起因するリスク(a)に日々直面している。彼らは、自らが所有しアクセスできる資産をどのように用いるべきかについて意思決定し、リスクを管理(b)している。

問1) 下線 (a) に関して、どのようなリスクがあるか、具体例を5つ挙げよ。

問2) 下線 (b) に関して、多くの伝統的農業者が実践しているリスク管理の方法について説明せよ。

【問題4】

問1) ～ 問4) に答えよ。

問1) 「農業のオートメーション」は、持続的な開発目標 (SDGs) のうち、どの目標の達成に重要な役割を果たすか、該当する開発目標の番号・名称とその理由を述べよ。

問2) 家畜、農作物、水産業、林業の各分野において導入されているデジタルオートメーション技術の具体例を、各分野について1つずつ述べよ。

問3) 農業のオートメーションの導入における正の影響と負の影響について述べよ。

問4) デジタルオートメーション技術の導入の鍵を3つ述べよ。

2024 年 8 月実施分

【出題意図：国際農学】

熱帯農業、環境問題、国際農業協力や地域開発ならびに持続的農業生産、食料生産などに関する専門的用語や事象に関する知識、熱帯地域を主とした気候変動の状況とその影響についての理解を問う。